

# 令和5年度 学校関係者評価報告書

令和6年3月18日

都築教育学園

第一幼児教育短期大学附属

鹿児島第一幼稚園

## 1. 本園の教育目標

幼児の主体的な活動としての遊びの重要性を念頭に置きながら、一人ひとりの個性や良い特性を伸ばすことを心がけるとともに、興味や関心に基づいた直接的な体験が得られるよう環境を工夫し、友達と十分にかかわって遊びや活動に取り組めるように配慮するなど、幼児期にふさわしい生活が展開されるような幼児教育を目指している。

## 2. 本年度重点的に取り組んだ目標・計画

令和5年度に取り組む課題として、年度当初に「地域との交流」「業務改善の取組」を掲げていた。「地域との交流」については、今年度も継続して国分小学校金管バンドの生徒が本園年長組のためにふれあいコンサートを開催し、年長組園児が鑑賞する機会などを通して交流を持つことができた。また、新型コロナウイルス感染症拡大の影響で中断していた、国分中央高校生活文化科との「保育交流」「卒園お茶会（茶道体験）」が再開の運びとなり、世代間の交流を持つよい機会となった。さらに、高齢者施設に園児の描いた絵を施設内に展示していただく機会などを通して間接的にも関わりを持つように心がけた。「業務改善の取組」については、園支援システムが順調に活用されており、園児の登降園の確実な管理・園業務の合理化につながっている。

## 3. 評価項目の達成及び取り組み状況

	評価項目	評価	取り組み状況
1	保育の計画性	B	園の教育課程に基づき計画を立て、実践している。また、その年度の行事の日程等にも柔軟に対応し、子どもが主体的に取り組めるように努めた。
2	保育の在り方、幼児への対応	A	一人ひとりの幼児をよく観察し、理解するように心がけている。
3	保育者としての資質や能力・良識・適正	B	温かく愛情豊かに子どもに接することを心がけ、さらに、より良い保育活動を行うために努力している。
4	保護者への対応	A	いろいろな方法を用いて子どもの様子をこまめに伝え、連携を図るよう努め、まずは保護者の思いを受け止めるように心がけた。

5	研修と研究	B	令和5年度より処遇改善加算に伴う研修の受講要件が必須となったことから、時間数が不足する教員を中心に研修の機会を設定した。全員が要件を満たすまでは、本人の受講希望に沿うことが難しい状況は致し方ないものの、少しずつ改善していきたい。
---	-------	---	--

評価（A…十分に成果があった B…成果があった C…少し成果があった D…成果がなかった）

#### 4. 総合的な評価結果

評価	理由
B	今年度も、環境を通して行う幼稚園教育のあり方を理解しつつ、一人ひとりの子ども達やその家庭に対し、丁寧な関わりを持つように努めた。その取り組みについて、本園の教育環境と共に保護者アンケートの中で高く評価された。一方、コロナ前の本園の行事や保育活動の取り組み方を知らない職員が1/3を占める中で、今後、より確実な職員間および保護者との連携が求められる。日々の業務の中で、効率よく連携を図る方法を検討し、実現していきたい。

評価（A…十分に成果があった B…成果があった C…少し成果があった D…成果がなかった）

#### 5. 今後取り組む課題

	課題	具体的な取り組み方法
1	安全管理 (令和6年度)	幼稚園は「要配慮者利用施設」に指定されることから、大雨洪水・台風・土砂災害・地震・火災・新型コロナウイルス等による感染など不測の事態に備え、「危機管理マニュアル」の見直しや災害別の避難計画の作成および教職員の意識づけに、引き続き取り組みたい。
2	協働の促進 (令和6年度)	子どもを主体とした教育を実現する上で、職員間の連携、保護者と職員の連携が重要であることから、さまざまな機会をとらえて、連携を図るように努めたい。また、子育て支援に観点から、保護者同士のかかわりの機会も状況に応じて設定していきたい。
3	研修の強化 (令和7年度) (令和8年度)	国が求めるミドルリーダーの研修受講要件について、本園ではミドルリーダー以外の職員も満たすような研修計画を立て、変化に強い体制づくりに努めたい。

#### 6. 学校関係者評価委員会の詳細

開催日	令和6年3月18日(月)
出席者	・ 第一幼児教育短期大学 幼児教育科学科長 ・ 法人事務局総務課長

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 保護者代表</li> <li>・ 幼稚園事務長</li> <li>・ 園長代理</li> </ul> <p style="text-align: right;">以上 5 名</p>
<p>評価内容</p>	<p>自己評価の結果と保護者アンケートの結果をもとに、今後の本園の取り組みについて以下のように提言をいただいた。</p> <p>1. 安心して子どもを預けられる体制の構築  保護者アンケートの結果において、意見が出されたもののうち、特に安全に関することがらについては、どのように対処するかを早急に検討し、結果について発信すると、保護者も安心するのではないか。また、危機管理マニュアルについても、引き続き適宜見直す必要がある。</p> <p>2. 短大との連携について  第一幼児教育短期大学の附属幼稚園という特色を生かし、園児と学生との交流のほか、短大教員の専門性を活かした教育内容の充実について、今後も積極的に進めてほしい。また、雨天時は、アゼリアホールを自由あそびの場として活用してはどうか。</p>